



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月8日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 タカラトミー
 コード番号 7867 URL <http://www.takaratomy.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) ハロルド・ジョージ・メイ
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員連結管理本部長 (氏名) 沓澤 浩也 TEL 03-5654-1548
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	38,487	13.9	1,835	—	1,699	—	1,218	—
29年3月期第1四半期	33,789	2.1	△151	—	△807	—	△1,033	—

（注）包括利益 30年3月期第1四半期 1,203百万円（－％） 29年3月期第1四半期 △4,843百万円（－％）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	13.04	12.88
29年3月期第1四半期	△12.03	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	144,330	52,913	36.3	557.56
29年3月期	157,693	51,611	32.4	548.45

（参考）自己資本 30年3月期第1四半期 52,396百万円 29年3月期 51,062百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期（予想）	—	5.00	—	5.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	80,000	4.3	3,000	15.7	2,800	73.3	2,100	250.4	24.19
通期	170,000	1.4	8,000	3.3	8,000	2.3	5,500	2.4	63.35

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	96,290,850株	29年3月期	96,290,850株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	2,316,509株	29年3月期	3,186,873株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	93,461,957株	29年3月期1Q	85,913,207株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

今後の見通しにつきましては、5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(2018年3月期第1四半期連結累計期間におけるハイライト)

- 売上高は、国内及びアジア市場における玩具販売や「トランスフォーマー」「ベイブレードバースト」の海外向け輸出が好調に推移したことにより38,487百万円、前年同期比13.9%の増加となりました。
- 営業利益は、大幅に良化し、1,835百万円（前年同期営業損失151百万円）となりました。利益率の高い国内玩具の販売が好調に推移するとともに、海外ビジネスの利益改善によるものです。
- 経常利益は、1,699百万円（前年同期経常損失807百万円）となりました。営業利益が大幅に良化したことによるものです。
- 親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,218百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失1,033百万円）となりました。経常利益が大幅に増加したことによるものです。
- 国内市場においては、「ベイブレードバースト」が好調に推移いたしました。定番商品においては、今年50周年を迎えたロングセラー「リカちゃん」や新たにテレビアニメを開始した「トミカハイパーレスキュー ドライブヘッド」関連商品が好評を博しました。
- 海外市場においては、「ポケットモンスター」（以下「ポケモン」）関連商品の売上が伸長したものの、ベビーブリスクール関連商品の売上高が減少いたしました。一方、前期に実施した一部商品の値引き販売が今期減少したことなどから収益性が改善いたしました。

(経営成績の概況)

<セグメント別業績の概況>

(単位：百万円)

	2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	増減	増減率(%)
売上高	33,789	38,487	4,698	13.9
日本	27,527	32,485	4,958	18.0
アメリカズ	5,527	4,841	△685	△12.4
欧州	1,645	1,193	△451	△27.4
オセアニア	459	463	3	0.8
アジア	10,768	13,582	2,814	26.1
消去又は全社	△12,139	△14,079	△1,940	—
営業利益又は営業損失(△)	△151	1,835	1,987	—
日本	1,328	2,102	774	58.3
アメリカズ	△618	△12	605	—
欧州	△341	△116	224	—
オセアニア	△55	△5	49	—
アジア	71	222	151	211.3
消去又は全社	△536	△353	182	—

<日本>

(単位：百万円)

	2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	増減
売上高	27,527	32,485	4,958
営業利益	1,328	2,102	774

BIG BET（最重点商品）である次世代ベーゴマ「ベイブレードバースト」が累計1,000万個超を販売するなど好調に推移しております。定番商品では、今年50周年を迎える「リカちゃん」がメディアで大きな話題となり商品の販売が伸長するとともに、4月から放送を開始した当社原作のテレビアニメ「トミカハイパーレスキュー ドライブヘッド」が人気を得ました。また、2016年秋に発売しヒット商品となった、タマゴを孵化させ楽しむ新感覚ペット「うまれて！ウーモ」の人气が継続しております。さらに、「トランスフォーマー」「ベイブレードバースト」の海外向け輸出が好調に推移いたしました。㈱タカラトミーアーツにおいては、アミューズメントマシン「ポケモンガオーレ」が引き続き好評を博すとともに、ぬいぐるみやクッキングトイなどの商品が人気を得ました。

以上のとおり、売上高は32,485百万円（前年同期比18.0%増）と大幅に増加いたしました。また、売上高の伸長に伴う売上総利益の大幅な増加により、営業利益は2,102百万円（同58.3%増）と増加いたしました。

<アメリカズ>

(単位：百万円)

	2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	増減
売上高	5,527	4,841	△685
営業損失(△)	△618	△12	605

アメリカズにおいては、再建策の一環である“収益性改善を目的とした事業の集中と選択”に取り組んでおり、ベビー用品や農耕車両玩具など6つの主力ブランドへ経営資源を集中的に投入しております。「ポケモン」においては玩具の販売が好調に推移する一方、ベビー用品、プリスクール関連商品に加えて農耕車両玩具の動向が低調であることから、売上高は4,841百万円(前年同期比12.4%減)となりました。一方、前期に実施した一部商品の値引き販売の減少による売上総利益の良化などにより、営業損失は12百万円(前年同期営業損失618百万円)と改善いたしました。

<欧州>

(単位：百万円)

	2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	増減
売上高	1,645	1,193	△451
営業損失(△)	△341	△116	224

「ポケモン」の玩具においては人気が続いており「ポケモン」シリーズ全体の販売が好調に推移したものの、プリスクール関連商品の販売については低調であったことなどから、売上高は1,193百万円(前年同期比27.4%減)となりました。一方、前期に実施した一部商品の値引き販売の減少による売上総利益の増加に加え、販売費及び一般管理費が減少したことにより、営業損失は116百万円(前年同期営業損失341百万円)と良化いたしました。

<オセアニア>

(単位：百万円)

	2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	増減
売上高	459	463	3
営業損失(△)	△55	△5	49

「ポケモン」関連商品や男児向け玩具の販売が好調に推移したことなどから、売上高が463百万円(前年同期比0.8%増)になるとともに、営業損失は5百万円(前年同期営業損失55百万円)となりました。

<アジア>

(単位：百万円)

	2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	増減
売上高	10,768	13,582	2,814
営業利益	71	222	151

アジア地域では、韓国、香港、台湾などにおいてテレビアニメ放送されている次世代ベージュマ「ベイブレードバースト」が店頭マーケティングの強化も奏功し、好評を博していることに加え、「ポケモンGO」の人気により、「ポケモン」関連玩具の販売も好調に推移しております。また、2017年夏公開の映画「トランスフォーマー」関連玩具の出荷が増加したことから、売上高は13,582百万円(前年同期比26.1%増)営業利益は、222百万円(同211.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

〔資産、負債及び純資産の状況〕

<資産>

流動資産は、前連結会計年度末に比較して13,565百万円減少し、89,326百万円となりました。これは主として、商品及び製品が増加した一方で、現金及び預金が減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比較して206百万円増加し、54,978百万円となりました。これは主として、無形固定資産が減少した一方で、建設仮勘定が増加したことによるものです。

<負債>

流動負債は、前連結会計年度末に比較して1,460百万円減少し、42,188百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が増加した一方で、未払費用、未払法人税等が減少したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比較して13,204百万円減少し、49,227百万円となりました。これは主として、長期借入金が増加したことによるものです。

<純資産>

純資産は、前連結会計年度末に比較して1,302百万円増加し、52,913百万円となりました。これは主として、利益剰余金が増加したこと、及び自己株式の処分があったことによるものです。

〔キャッシュ・フローの状況〕

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」)は、前連結会計年度末に比較して17,515百万円減少し、41,015百万円となりました。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,821百万円の支出(前年同四半期は800百万円の支出)となりました。これは主として、減価償却費2,017百万円、税金等調整前四半期純利益1,723百万円、仕入債務の増加1,486百万円等があった一方で、たな卸資産の増加2,559百万円、未払費用の減少2,441百万円、法人税等の支払額1,714百万円、未払金の減少957百万円、売上債権の増加688百万円等があったことによるものです。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,037百万円の支出(前年同四半期は837百万円の支出)となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出736百万円等があったことによるものです。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動によるキャッシュ・フローは、13,673百万円の支出(前年同四半期は1,513百万円の支出)となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出12,987百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出820百万円等があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年5月10日公表のとおりであり、変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	58,623	41,108
受取手形及び売掛金	20,942	21,678
商品及び製品	13,982	16,464
仕掛品	328	447
原材料及び貯蔵品	1,286	1,316
繰延税金資産	1,931	1,767
その他	5,965	6,714
貸倒引当金	△168	△171
流動資産合計	102,891	89,326
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,381	13,572
減価償却累計額	△8,530	△8,595
減損損失累計額	△412	△415
建物及び構築物 (純額)	4,437	4,560
機械装置及び運搬具	2,337	2,363
減価償却累計額	△1,605	△1,649
減損損失累計額	△17	△17
機械装置及び運搬具 (純額)	714	696
工具、器具及び備品	21,982	22,535
減価償却累計額	△19,137	△19,689
減損損失累計額	△458	△472
工具、器具及び備品 (純額)	2,387	2,374
土地	4,194	4,128
リース資産	7,762	6,660
減価償却累計額	△4,161	△3,133
減損損失累計額	△0	△0
リース資産 (純額)	3,599	3,526
建設仮勘定	485	1,011
有形固定資産合計	15,819	16,296
無形固定資産		
のれん	20,468	20,071
その他	13,446	13,092
無形固定資産合計	33,915	33,163
投資その他の資産		
投資有価証券	2,584	2,773
繰延税金資産	207	269
その他	2,294	2,520
貸倒引当金	△49	△44
投資その他の資産合計	5,037	5,518
固定資産合計	54,772	54,978
繰延資産		
社債発行費	29	25
繰延資産合計	29	25
資産合計	157,693	144,330

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,477	11,077
短期借入金	7,099	7,285
1年内返済予定の長期借入金	4,408	4,406
リース債務	2,287	2,295
未払金	7,809	7,573
未払費用	8,881	6,498
未払法人税等	2,038	594
引当金	712	532
その他	934	1,924
流動負債合計	43,649	42,188
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	43,240	30,221
リース債務	950	911
繰延税金負債	2,293	2,337
再評価に係る繰延税金負債	472	472
役員退職慰労引当金	141	147
退職給付に係る負債	3,034	2,958
その他	2,300	2,178
固定負債合計	62,432	49,227
負債合計	106,082	91,416
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,459	3,459
資本剰余金	9,045	9,077
利益剰余金	29,264	30,017
自己株式	△2,073	△1,507
株主資本合計	39,696	41,047
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	735	872
繰延ヘッジ損益	1,133	1,090
土地再評価差額金	364	364
為替換算調整勘定	9,999	9,868
退職給付に係る調整累計額	△866	△847
その他の包括利益累計額合計	11,366	11,349
新株予約権	182	147
非支配株主持分	365	369
純資産合計	51,611	52,913
負債純資産合計	157,693	144,330

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	33,789	38,487
売上原価	20,806	23,116
売上総利益	12,982	15,371
販売費及び一般管理費	13,133	13,535
営業利益又は営業損失(△)	△151	1,835
営業外収益		
受取利息及び配当金	31	68
受取賃貸料	39	37
その他	17	18
営業外収益合計	88	124
営業外費用		
支払利息	157	150
為替差損	536	52
その他	49	57
営業外費用合計	743	260
経常利益又は経常損失(△)	△807	1,699
特別利益		
固定資産売却益	0	18
新株予約権戻入益	55	6
その他	3	—
特別利益合計	60	24
特別損失		
減損損失	22	—
その他	1	—
特別損失合計	23	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△770	1,723
法人税等	258	501
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,028	1,222
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	4
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,033	1,218

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,028	1,222
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△196	137
繰延ヘッジ損益	△766	△42
為替換算調整勘定	△2,924	△133
退職給付に係る調整額	72	18
その他の包括利益合計	△3,815	△19
四半期包括利益	△4,843	1,203
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,848	1,198
非支配株主に係る四半期包括利益	4	4

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△770	1,723
減価償却費	1,667	2,017
減損損失	22	—
のれん償却額	350	359
新株予約権戻入益	△55	△6
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△5
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1	6
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△132	△56
受取利息及び受取配当金	△31	△68
支払利息	157	150
売上債権の増減額(△は増加)	△901	△688
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,734	△2,559
仕入債務の増減額(△は減少)	1,772	1,486
未払金の増減額(△は減少)	14	△957
未払費用の増減額(△は減少)	△704	△2,441
その他	685	6
小計	339	△1,031
利息及び配当金の受取額	29	68
利息の支払額	△148	△144
特別退職金の支払額	△90	—
法人税等の支払額	△931	△1,714
営業活動によるキャッシュ・フロー	△800	△2,821
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△676	△736
無形固定資産の取得による支出	△206	△295
その他	46	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△837	△1,037
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,512	0
長期借入れによる収入	2,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,082	△12,987
配当金の支払額	△387	△429
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△797	△820
自己株式の処分による収入	268	554
その他	△1	8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,513	△13,673
現金及び現金同等物に係る換算差額	△979	16
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,129	△17,515
現金及び現金同等物の期首残高	39,902	58,530
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,772	41,015

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	アメリカズ	欧州	オセアニア	アジア	合計
売上高						
外部顧客への売上高	24,200	5,499	1,645	459	1,983	33,789
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,326	27	—	—	8,785	12,139
計	27,527	5,527	1,645	459	10,768	45,928
セグメント利益又は損失(△)	1,328	△618	△341	△55	71	384

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	384
セグメント間取引消去	105
全社費用(注)	△641
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△151

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 地域に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米		その他	合計
			内 アメリカ		
売上高	21,765	6,561	6,144	5,462	33,789

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	アメリカズ	欧州	オセアニア	アジア	合計
売上高						
外部顧客への売上高	29,369	4,813	1,192	463	2,649	38,487
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,115	28	1	—	10,933	14,079
計	32,485	4,841	1,193	463	13,582	52,567
セグメント利益又は損失(△)	2,102	△12	△116	△5	222	2,189

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,189
セグメント間取引消去	254
全社費用(注)	△608
四半期連結損益計算書の営業利益	1,835

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 地域に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米		その他	合計
			内 アメリカ		
売上高	24,103	6,495	6,087	7,889	38,487

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています。